



春季休業の時間を上手に活用しよう!!

進級する前にやるべきこと

これから春季休業に入ります。進級するにあたって、春休み中に時間をつくって実行してもらいたい点があるので、自分の進路希望と照らし合わせて行動していきましょう。自分で調べたり、保護者に意見を聞いたりと行動することで進路研究を深め、将来に対しての自分の意志を再確認していきましょう。

○ 保護者と進路について、考えましょう。

春休み中に、時間をつくって自分の将来について、保護者と話し合いをしましょう。自分の進路希望を話し、保護者の要望を聞き、お互いが納得した上での進路希望先を見つけましょう。一年生は、自分では不明確だった進路希望が保護者と話をすることで、少しずつ明確になってきます。進路希望がはっきりすれば、早めに受験勉強や受験対策をすることができます。二年生は、三者面談等で担任を交えて話し合い、自分の意向を明らかにしていきましょう。特に進学を希望する際、保護者に学費等を負担してもらうので、進学にかかる費用を自分できちんと把握し、保護者に説明できるようにしましょう。

○ 気になる学校や会社の情報を収集し、希望先を絞り込みましょう。

春休みに進学希望先のオープンキャンパスに参加してみましょう。新型コロナの影響で、オンラインでオープンキャンパスを開催する学校も増えました。興味のある学校に参加して、各学校の内容を比較検討してみましょう。

また、希望先の学校のホームページを活用し、複数の学校の教育理念やアドミッション・ポリシーなどの情報を集め、比較していきましょう。

公務員希望者は、警察官や消防士といった職業に何故就きたいかを考え、説明できるようにしましょう。各専門学校が公務員講座を無料で開いています。春休み中に一度参加し、他校の公務員希望者の動向を見て、受験意識を高めていきましょう。また、市販されている問題集を購入し勉強を進めていきましょう。国家公務員・福島県職員の次年度の試験日程もでてるので、受験計画をつくり、早めに対応しましょう。

民間企業を希望する生徒は、パンフレットやホームページで情報を収集し、会社のどのような面で興味を持ったかを説明できるようにしましょう。就職試験では、一般常識やSPIのテストを取り入れている企業も増えてきています。自分で問題集を購入し、面接・作文対策ばかりでなく、一般常識の知識も蓄えていきましょう。

公務員と民間企業の併願は、原則として認められませんので、公務員か民間企業か迷っている生徒は、進路希望先を決定する場合は特に注意しましょう。

○ 学習面では、基礎固めと苦手科目の克服に取り組む。

就職・進学にかかわらず、基礎学力の定着をはかりましょう。各教科や各学年の課題でできなかった部分や定期考査で間違った部分の直しを行い、苦手意識をなくしていきましょう。

大学受験を考えている生徒は、模試の復習をしっかりとやりましょう。全く分からなかった部分、時間がなくてできなかった部分や間違った部分の模試解説を熟読し、問題を再度解き、学力の向上に努めましょう。

模試解説を読んで、授業用のノートに重要な部分を書き写したり、間違えた部分を再確認するなど、普段の授業用のノートは受験対策のノートに作りかえていくことも学力を定着させる一つの方法です。

○ 志望校の入試の仕組みや問題を分析する。

志望校がある程度決まっている生徒は、希望する学部・学科の入試科目は何か。どんな種類の入試（一般選抜（一般入試）、学校推薦型選抜（推薦入試）、総合型選抜（AO入試）など）が実施されるのか。入試の種類ごとの傾向と対策を調べてみましょう。また、過去問を解いてみるのも自分の実力を知る手掛かりになります。

入試科目の選択や科目ごとの配点など、学校によって入試方法はさまざまです。**学校推薦型選抜や総合型選抜で受験する際は、通常、合否判定ができるまで、他の学校を受験することができません。**第一希望の学校を選び出せるように進路研究をしっかりと進めていきましょう。

○ 教科書を購入したならば、最低限、教科書を読んでおくこと。

新学年の教科書・資料集・問題集を購入したと思いますが、新学期の最初の授業で初めて教科書を開くことがないように注意しましょう。春休み中に、教科書を読んで、学習内容を確認しておきましょう。

特に三年生は、1学期の成績が重要視されます。その他に部活動も最後の大会を迎えて忙しい時期です。どちらもベストな結果が残せるよう春休み中から努力していくことが大事です。

オープンキャンパスの参加について

進学をした後、“学校が提供する学びや生活”と“学生がやりたいこと”のミスマッチが見つかり、学習意欲を保てない生徒も出てきています。こうしたミスマッチを防ぐためにも、オープンキャンパスを利用し、進学したい学校を絞り込んでいきましょう。オンラインでのオープンキャンパスが多くなってきています。ある程度時間に余裕のある春休みの時期を有効的に活用しましょう。

なお、オープンキャンパスに参加する場合は、担任や部活動の顧問に連絡してから参加するようにしましょう。

○ 事前予約が必要かどうかを確かめ、事前準備をして、目的を持って参加しよう。

オープンキャンパスは毎日実施されているわけではありません。行ってみたい大学が見つかったらホームページなどで日程を調べましょう。**事前予約が必要な場合もある**ので要注意です。参加する前には、資料やホームページを見て、学校について調べておくと、より有益なオープンキャンパスになります。

折角ですから参加する際は、ただ見学するのではなく、その**学校を志望する理由を見つけることを目標にしましょう。**学校の特長・強みは何か。自分が学びたい分野の学科はあるかなど、自分が確認したい項目を掲げて参加し、他の学校と比較できるようにしましょう。

○ 「質問を通じてより深く知る場」です。学校生活をイメージし、受験に対してのやる気を向上させよう。

実際にキャンパスに行って施設や設備を見学したり、教員や先輩たちの話を聞いたりして、学校の魅力を肌で感じることができれば、受験勉強のモチベーションをあげることに繋がります。オンラインでも、十分に話を聞くことができます。貴重な機会を有効活用するためには、**学校の基本的な情報をあらかじめ調べておき、その上で不明点やより詳しくより深く知りたいことを明確にしておくことが大切です。**

また、学校推薦型選抜では、参加自体が評価されるわけではありませんが、志望理由書の記入や面接試験の時には、オープンキャンパスで得た知識や体験を書いたり、話したりすることができ、志望理由の内容を高めることにつながります。

○ オープンキャンパスで確認しておきたい項目

入試日程・選考方法

取得資格・免許

教育理念

アドミッション・ポリシー

キャンパスライフ

授業・カリキュラム内容

学費・奨学金制度

卒業後の進路